



お手入れ&

表面仕上げ

シンプソン(Sympson)®ドアはこの先長期にわたって使えるよう手作業で仕上げられています。また、精巧な家具のひとつひとつがそうであるように、最高の性能を維持させるためにシンプソン®ドアもまた適切な表面処理と定期的なメンテナンスを必要とします。美しいシンプソンドアを長持ちさせるために、下記のそれぞれ該当するセクションで概説されている手順に従ってください。シンプソンの「お手入れ&表面仕上げ」の奨めを守っていただかない場合には、ドアの保証は無効となります。

ご希望のセクションに進んでください。

[黒板パネルドア](#)

[ガラスクリーニングに関する推奨事項](#)

表面仕上げのいろいろ

シンプソンのドアは最高級の素材だけを使用して作られていますので、お客様は多種多様な着色(ステイン)およびペンキ塗装を選ぶことができます。お客様がダグラスファー、ウェスタンヘムロック、アメリカンレッドオークなどシンプソンのドアで使用されている上質木材を着色する際には、塗装業者は幅広いセレクションの色チップでその木材が着色された時の状態を実際に見せてくれます。

着色ではなくペンキ塗装を選択する場合には、油性の下塗り剤の上に油性またはラテラックス樹脂系の塗料を塗ることができます。その際、このパンフレットに記述されている仕上げの指示を守ってください。また、使用する特定の仕上げ剤を決める前に、例えば厳しい気候に直接曝されることなど、お客様のシンプソンドアが耐える必要がある条件を検討ようにしてください。

取扱い

1. ドアユニットの上を歩かないでください。ユニットによってはガラスが含まれているものもあります。
2. 複数のドアを向かい合わせにして引きずらないようにし、ドアを傷つけないようにします。
3. 乾燥した、風通しのいい建物の水平な面で平らにして保管します。
4. ドアを取り付ける前に、その土地の平均的な相対湿度に慣らしておくようにします。
5. また、ドアが熱や湿度の急激な変化による影響を受けないようにします。建物を乾燥させる暖房などによる急激な変化を避けてください。
6. ドアを作業現場で保存する場合には、両端を含むすべての表面を、過剰な湿気吸収の防止に効果がある油性シーラー処理する必要があります。

表面仕上げの準備

1. 仕上げの最初のコーティング前に、180番の紙やすりで表面全体に軽くやすりをかけます。これにより、指紋や手の跡を取り除くことができます。
2. 必要があれば、部材の調整、位置合わせを表面仕上げ前に行います。木製パネルに「浮き」がある場合には、木製の角材およびハンマーで適切な位置になるまで叩きます。ドアを傷つけないように気をつけてください。



3. やすりをかけた後、布を使ってドアからほこり、異物を取り去り完全にきれいにします。この際に、腐食性または研磨用の洗剤の使用は避けてください。
4. 仕上げに移る前にドアを一度取り付け、その後取り外して仕上げを適切に行います。ドアは、ハードウェアを取り付ける前および水分、風雨に曝す前に適切に塗料を塗る必要があります。また、ドアを長期保管する直前にも適切な仕上げを施します。
5. ドアの表面はすべて適切な表面仕上げが施されている必要があります。端(上下端および側端)は、ドアの外表面用のあらゆる表面塗装剤を塗装する必要があります。また、仕上げ前にドアを乾かす必要があります。
6. 透明ガラスが嵌められたドアでは、仕上げ剤を木からガラス上にわずかに流すようにします。これにより、水漏れを防ぎ、ガラス取付け工事用の混合材「パテ」(仕上げ用上塗りしっくい)を乾燥から守ります。
7. 注意: 仕上げをおこなう人は仕上げ前および仕上げ中は責任を持ってガラスを保護してください。
8. ガラスの上にプラスチックフィルム製の保護が施されているドアでは、仕上げ実施後直ちにそのプラスチックフィルムを取り除く必要があります。プラスチックフィルムをこの時点で取り除かないと、ガラスを傷つける場合があります、その後のフィルムの除去が難しくなります。かみそりの刃や先の尖ったものを使ってフィルムを取り除いたりガラスをきれいにしたりしないでください。ガラスに引っかき傷を作ってしまうことになります。

屋外用表面仕上げ

着色-透明仕上げ

最初のコーティングでは、ドアに色づけし、表面をシールする、着色(ステイン)と密封(シール)を兼ね合わせた着色-密封を使用します。様々な色を利用することができます。着色-密封にはアルキド樹脂系を使用します。どんな場合でも、屋外用のドアにラッカー系のトナー、またはその他ラッカー系の仕上げ剤を使用しないようにしてください。

2回目、3回目のコーティング(最低2回はコーティングする)では、溶剤系(油性、アルキド樹脂系)または、水性(ラテックス樹脂系)の透明仕上げ剤を使用します。下記の注意(1)、(2)を参照してください。

溶剤系透明仕上げ剤および水性透明仕上げ剤のそれぞれのメリット、デメリットは次の通りです。

1. 溶剤系のメリット: 乾きが早く、より硬質でより水性耐性がよい。天気が変わりやすい状況での適用に適している。デメリット: 紫外線劣化の影響を受けやすく、水性の透明仕上げ剤ほど柔軟性、耐久性がない。
2. 水性のメリット: 非常に柔軟で、紫外線劣化に非常に強く、屋外用の耐性に優れる。デメリット: 10°C(50°F)以下では使用できず、乾くまで時間がかかり、完成した状態になるまでに数週間かかることもある。完成した状態になるまで水にもろい。

注: 透明ラテックスのコーティング間にやすりをかけないでください。日光および風雨の直接の影響から保護されている場合には、着色透明仕上げはすべて、ある程度の効果があり、塗り返しを頻繁に行う必要はありません。

ペンキ塗り仕上げ



パネルドアには、油性またはラテックス樹脂系の屋外用塗料を使用すると良い結果になります。油性塗料は、ラテックス樹脂系の塗料よりも、水の浸透(液体、蒸気共に)に対して耐性がありますが、後者は丈夫さ、色持ちという点でより優れています。

上質な油性下塗剤を塗った後に、溶剤系またはラテックス樹脂塗装のトップコーティングを2回おこないドアをシールします。もちろん、下塗剤と一番上のコーティングは両方とも同じメーカーの物を組み合わせて使用できるようになっているものを使ってください。

注: 直射日光または雨に曝される可能性があるが木製ドアを美しい状態にしておきたいという場合には、気象条件や曝される湿度に応じて、定期的に繰り返しシールまたは塗装する必要があります。またドアパーツにある程度の膨張や収縮が起こる可能性があるため、日光に曝されるドアに濃い色の着色またはペンキ塗装を行うことはお奨めできません。

注意: シンプソンドア社は、すべての入手可能なペンキ塗料、着色塗料の品質を評価することはできません。また、お客様の特別な利用法に関する要件を評価することもできません。お客様の塗装業者は、お住まいの地域でお客様に満足していただける仕上げに関して適切な知識を持っています。したがって、最高品質の仕上げ剤を選択し、容器に書かれた使用指示をきちんと守ることを強くお奨めします。

露出性が高い場合の仕上げ

1. 油性の下塗りをし、少なくとも3回、油性またはラテックス樹脂系の塗装を外側表面に適用します。ラテックスはより丈夫で色落ちしにくくなります。
2. 各ガラス枠の周辺付近には、シリコンまたはコーキングビーズ(ペンキ塗料との互換性のあるもの)を使用します。これにより、パテはシールされ、湿気が直接ドアにあたらないようになります。
3. すべての仕上げコーティングが、ガラス部分に少なくとも約 4.23 mm (1/16 インチ) 確実に流れ込むようにします。
4. ドア表面に塗ったすべてのコーティングが、確実に上端および下端に行きわたるようにします。各ドアの6つの側面すべてをコーティングしてください。そうでない場合、お客様への保証は無効となります。
5. ドア底の掃き出しにシリコンを注入して、各ドアの底に表面取付け用雨押さえを取り付け、湿気を敷居上に逃がすようにします。
6. 外開き用: 使用されていないドアの上部を仕上げる前には、必ず落とし錠プレップ周りのほぞ穴ポケットをシリコンまたはコーキング剤で充填してください。外開き用のユニットの場合湿気はこの部分に溜まることが知られています。ドア上部に薄い金属レイヤーを渡して、湿気が木材と直接接触しないようにすることも考慮に入れてください。
7. 防風ドア、網戸の場合には、湿気の問題を完全に排除しておく必要があります。防風ドアは、温度が上昇しないように通気してください。

ペンキ塗料仕上げ仕様

1. ドアの表面からモールディング部に仕上げを「橋渡し」し、確実に段差をなくします。
2. モールディング部がパネル、ガラスにかかる場所のパネル部分の内側を、上述のように仕上げの橋渡しをします。



3. モールディング部の留め継ぎの合い口すべてをコーティングし、確実に、差が残らないようにします。

わき柱から敷居にかけての仕様

1. 敷居-わき柱の足継ぎを塞ぎます。
2. 敷居がわき柱と出会う所には、コーナーパッドを使用します。
3. 敷居の落とし錠の穴を、コルクまたはシリコン注入します。

屋内用仕上げ

着色-透明仕上げ

屋内用のドアには、溶剤系の仕上げ剤(ラッカー系のような)をお奨めします。刷毛塗りをする場合には、着色前に下塗り剤を使用することをお奨めします。最高の効果を引き出すためには、最低2回、透明トップコーティングを着色の上に施します。

ペンキ塗り仕上げ

上質の油性下塗り剤、次に溶剤系またはラテックスエナメルの上塗りコーティングを2回おこない、ドアをシールします。

設置・取付け

1. ドアを取り付ける際には、ジメジメした天気やドアまたはフレームが膨張する幅に対応する適切なすき間を残しておきます。ドアが完全に乾いた状態で設置する場合には、膨張用として約 4.75mm (3/16 インチ) のすき間を見積もります。わき柱は垂直でなければなりません。
2. ドアの高さを、約 51 mm (2 インチ) 以上切り取って短くしないでください(底から最高約 25mm ~ 12.5mm、上から最高約 12.5mm)。ドアの幅を短くする際には、短くした部分が露出しないよう注意してください。ドアの端を調整する場合には、良く切れる目の細かい鋸を使用してください。
3. ロックに適合させる場合には、ドアの強度を損なわないよう注意する必要があります。ほぞ穴の木材の後ろ、少なくとも 1 インチ余裕をもたせます。
4. ヒンジは、高さ 210cm (7 フィート) までのドアで 3 つ、210cm 以上で 4 つ使用します。ヒンジは、歪まないようまっすぐに設置してください。
5. わき柱と留めは、完全に垂直に設置してください。
6. 最高の性能を引き出すためには、あらゆる屋外用ドアは、張り出し部分の下または、十分に保護されるような場所に設置してください。張り出し部分が実際に不可能な場合、または実際に新たにドアを守る手段を付け加えることができない場合には、ドアを明るい色で仕上げることが、ドアへの過剰な熱の蓄積を防止することになります。
7. 切って調整した直後(取り付け前)には、ドアの全切断面および端を効果的な密封剤でシールします。全手順については屋内外の推奨事項を参照してください。
8. ドアは、屋外に出す前に完全に仕上げが終了している必要があります。
9. 熱損失を最小化し、エネルギーを節約するためには、気密用充填剤を使用します。



メンテナンス

シン普森®ドアはこの先長期にわたって使えるように手作業で仕上げられています。また、あらゆる精巧な家具がそうであるように、見た目を維持し、各部を適切に保護するためには、表面仕上げに、簡単ながら定期的なメンテナンスが求められます。表面仕上げへの通常のメンテナンスはまた、すべてのシン普森のドアに付属している保証に対する要求事項でもあります。

以下のサインは注意すべき事項です。以下のようなものが見つかったら、簡単で行いやすいメンテナンスを施すべき時です。

- 表面仕上げのトップコートに非常に細かいひびがある。
- 表面仕上げの色が変わっている。
- 剥離、はげ等、表面仕上げの質に変化がある。
- 表面仕上げにたるみやチョークマークがある。

居住地域が厳しい気象条件にある場合、または出入り口が南または西からの直射日光に頻繁に曝されている場合には、ドアの仕上げをしばしば見直すこととなります。条件によってはまた、ドアの仕上げ塗りを頻繁に繰り返す必要もあります。

オークは最も長持ちするハードウッド種のひとつですが、それでも木材独特のダイナミックな性質があるという点に留意しておくことが大切です。時間とともに、表面上の小さな「欠点」が出現するかもしれませんが、また、ドアは天気の変化で「呼吸」するので、ドアが縮んだり、膨らんだりすることがあります。これらの特徴は、完全に正常なもので、オーク材ドアの自然な経年変化のプロセスを反映しており、欠陥と見做されるべきものではありません。しかし、こうしたことを最小限にするために、ドアを適切に仕上げ、適切な張り出し部分を付けてやることで保護してください。

チョークボードパネルドアの手入れ & 表面仕上げ

新しいチョークボードドアを使用する前に

1. 1週間毎日、冷水で表面を洗います。
2. 1回に洗う面積は小さいものにし、洗った後は直ちに糸くずの出ない布でこすって乾かします。
3. ドアの表面全体が洗われるまでこれを繰り返します。
4. 洗浄後、チョークを板の上に平らに置き、表面全体に塗ります。
5. むらなく消します。これでチョークボードの使用準備ができました。

メンテナンスのヒント:

1. 黒板消しを頻繁に掃除します。
2. 色素で消しにくくなるので、黄色やその他の色付きのチョークではなく白いチョークを使用します。
3. 必要に応じ黒板を毎週洗います。
4. 質の悪いチョークを使用すると消えなくなることがあるので、質の良いチョーク(チョーク95%、結合剤5%)を使用するようにしてください。